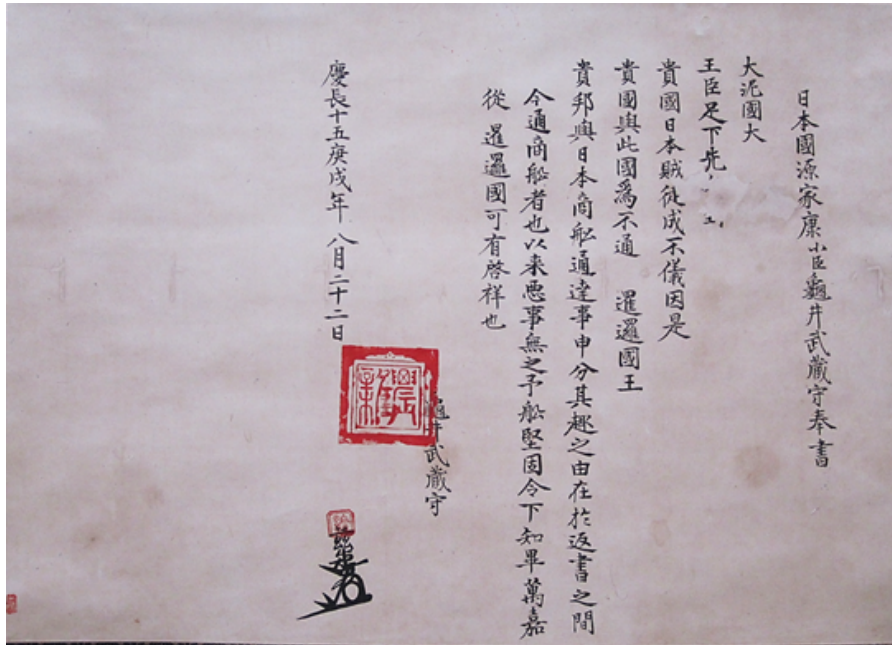


近世

第7章 幕藩体制の確立 4. 江戸時代初期の外交関係 (1) 初期の外交

かめい これのり
亀井茲矩の朱印船貿易①
 —パタ二国王に送った手紙—



『石見亀井家文書』国立歴史民俗博物館蔵 ★

亀井茲矩(1557～1612)

出雲国出身。尼子家臣湯永綱の子。毛利氏による尼子攻めで敗北した後、羽柴秀吉の配下として鳥取城攻めに加わり、鹿野を拠点に活躍し、鹿野城主となる。関ヶ原の戦いでは東軍に味方し、勝利後、気多郡・高草郡を与えられる。



国指定史跡：亀井茲矩墓所
 (鳥取市気高町山宮)

解説

■朱印船貿易

江戸時代初期、幕府は日本人の海外渡航を奨励し、各地の大名や商人に、海外渡航を許可する朱印状を与えた。このような船を朱印船と言う。

■亀井茲矩の朱印船貿易

鹿野城主亀井茲矩も朱印船貿易を積極的に行った武将の1人である。

この資料は1610(慶長15)年に茲矩がパタ二国王に送った手紙である。パタ二(大泥国)はマレー半島東岸にあった女王国で、この地方の貿易の中心地であった。この手紙は日本の海賊のために途絶えていた国交を、シャム国王の仲介により再開することにしたとパタ二国王に伝【朱印船貿易を行った主な大名】



(大嶋陽一 2012年より引用)

大名	地域	回数	大名	地域	回数
島津家久	薩摩	8	加藤清正	肥後	3
松浦鎮信	肥前	7	五島玄雅	肥前	2
有馬晴信	肥前	7	竹中重義	豊後	2
亀井茲矩	因幡	3	松倉重政	肥前	1
鍋島勝茂	肥前	3	細川忠興	筑前	1

えたものである。茲矩は早くから世界に目を向けていた。この表によれば、朱印船貿易を行った大名は、

ほとんど九州出身者である。その中で山陰の亀井茲矩が積極的に貿易を行っていたことは注目される。

(担当：岡村吉彦)

参考資料

- 大嶋陽一「史料篇『亀井茲矩朱印船貿易』(鳥取市あおや郷土館編『図録 戦国の知将 亀井茲矩』)(2012年)
- 鳥取県『新鳥取県史資料編 古代中世1 古文書編』(2015年)

★の写真は教育活動以外での無断利用や転載を禁止します。